4/21□□□

◆□□□□□□
□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□
□□□□□□□□□□□□□□□□□
□□□□□□□□□□□□□□□□□

奨学金問題対策全国会議　設立５周年集会

高等教育無償化･奨学金『誰のため 何のためか』

学費の異常な高負担、奨学金の返済に苦しむ人々、アルバイト漬けの学生生活などが大きな社会問題となっています。国は、昨年度から、給付型奨学金の導入、貸与型奨学金の無利子化、所得連動返還型奨学金制度などの改革を始めましたが、限られた予算内での限定的なものに止まっています。他方、多くの人が利用する日本学生支援機構の貸与型奨学金では、返済困難者の救済制度が機構の「裁量」だとして不当な運用がなされ、深刻な事態が続いています。そもそも高等教育の無償化や奨学金は「誰のため、何のためか」。当会議設立５周年にあたり、この問いに向かい合うべく、シンポジウムを開催します。

学び直しを可能にする社会人にも開かれた教育、若者の生きづらさと支援、生活保護家庭の若者の進学、記者の視点など、様々な観点から取り組みを続ける方々の参加を得て、ともに考えたいと思います。

資料代弁護士・司法書士：２０００円，一般：無料

【日時】２０１８年4月２１日（土）
１３：００～１７：００
（開場１２：３０）

【場所】早稲田奉仕園　スコットホール
東京都新宿区西早稲田２－３－１
電話　０３－３２０５－５４１１
東京メトロ東西線「早稲田駅」２番出口　徒歩５分
東京メトロ副都心線「西早稲田駅」２番出口　徒歩８分

【５周年 特別記念講演！】
「高等教育の漸進的無償化を
～大人の学びと雇用のために～」
東京工業大学名誉教授
矢 野 眞 和 氏

1944年生まれ。東京工業大学名誉教授。工学博士。専門は、社会工学、教育経済学。＜主な著書＞「大学の条件－大衆化と市場化の経済分析」（東京大学出版会，2015）、「教育劣位社会―教育費をめぐる世論の社会学」（共著：岩波書店，2016）「高専教育の発見－学歴社会から学習歴社会へ」（共著：岩波書店，近刊）など

【実現！ビッグ対談】
「奨学金という呪い－就職・結婚・出産」

作家・活動家　雨宮処凛 氏
中京大学教授　大内裕和 氏

「生きづらさ」などについての著作を執筆する一方、格差・貧困問題などに積極的に取り組んできた雨宮処凛氏。「ブラックバイト」を社会問題として提起し、学費と奨学金問題の改善運動を続けてきた当会議共同代表の大内裕和氏。二人が奨学金を切り口に若者の生きづらさと必要な支援などを大いに語る。

その他のプログラム
- **●報告と問題提起：　生活保護家庭からの大学進学　学校の奨学金担当の現場から　新聞記者の目**
- **●当事者の声：新聞奨学生の体験から　●若い世代からのメッセージ：関西学生アルバイトユニオン**
- **●連帯挨拶：労働者福祉中央協議会**
- **●活動報告と提言：埼玉奨学金問題ネットワーク　奨学金問題対策全国会議　ほか**

●同日開催●　本シンポジウム終了後に全国会議の総会を予定していますので、会員の皆様はご参加下さい。

主催：奨学金問題対策全国会議
〒113-0033　東京都文京区本郷２－１３－１０　湯淺ビル７階　東京市民法律事務所内
電話　03(5802)7015　Fax　03(5802)7016　事務局長　弁護士　岩重佳治

PDF□□□□⇒□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□